



別府中学校PTAに 優良PTA文部科学大臣表彰



別府中学校PTAが、令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

今回の受賞は、保護者が主体的に学校環境の整備や

行事に協力しているほか、校区内のこども園・小学校と連携した活動を行っていることや、同窓会や老人クラブ、伝統芸能保存会など地域の団体とも積極的に連携するなど、長きにわたり学校・家庭・地域の3者が一体となった活動を推進してきたことが評価されたものです。

また、同校は、仲間と協力しながら体力づくりに取り組み、記録に挑戦する令和6年度「体力アップ！チャレンジかごしま」でも好成績を残し、鹿児島県教育委員会より学校賞を受賞しました。



株式会社フォーエバーと パートナーシップ協定を締結



3月25日、株式会社フォーエバーと「地域に根ざしたICT拠点によるまちづくりに関するパートナーシップ協定」を締結しました。

この協定により、旧金山小学校を地域に根ざしたICTの拠点としてさらに事業を展開し、IT人材の育成や確保、関係人口の創出、産業振興など、デジタル技術を生かして本市の活性化を目指していきます。

同社の久永忠範代表取締役は「行政事務のデジタル化やデジタルディバイドの解消に向けた取り組みのほか、旧金山小学校の施設を生かしたさまざまな体験事業や飲食店での地元食材の活用・発信にも取り組み、地域の活性化につなげていきたい」と話しました。



南日本新聞社枕崎支局長に 藤崎優祐さんが就任



4月1日から南日本新聞社枕崎支局の新たな支局長に、藤崎優祐さんが本社報道部から赴任しました。

鹿児島市玉里団地出身で、南薩地

区への配属は初めてとなります。

立神岩を望むロケーションがお気に入りという藤崎さんは「縁もゆかりもない土地で、地元の皆さんに温かく迎えてもらい感謝しています」とあいさつ。

「よそ者だからこそ気付く枕崎の魅力や課題を届けたいです」と抱負を語りました。市内の飲食店で船人めしや勝男武士カレーを食べ歩きながらまちを知ろうとしているそうで、「どこかで見かけたら気軽に声をかけてほしいです。枕崎のことを教えてください」と呼びかけていました。



耕作放棄地を活用した焼酎づ くり、苗植え付けをスタート！



4月10日、株式会社ソラシドエア、薩摩酒造株式会社、一般社団法人地域商社推進機構、枕崎市の4者による「地域価値向上に関する包括連携協定」の取り組みとして、市内の耕作放棄地を活用した焼酎づくりのための苗植え付けを行いました。当日は株式会社ソラシドエアの新入社員50名が研修の一環として参加したほか、市内保育園の園児も参加し、約100名が火之神地区にある耕作放棄地を耕した畑に「ミチシズク」や「サツマアカネ」など、約5,000本の苗を植え付けました。

今後は、サツマイモの収穫や焼酎づくりなどの取り組みを通じて、4者の連携による新しい価値創出を進めていきます。



市立病院市来仁志医師が 事業管理者に就任



令和6年度から院長を務めてきた市来仁志医師が、4月1日付けで、市立病院事業管理者に就任しました。

市来管理者は「平成10年に当時

の鹿児島大学医学部第一内科の医局に入局し、「偉くなくとも正しく生きる」をモットーにしていたためか、これまで役職には縁遠い自由な医師人生でありました。現在、医師不足・人口減少・少子高齢化など、地域医療を取り巻く環境は非常に厳しく、病院経営のかじ取りは困難なものとなっていますが、病院事業管理者、病院長として、「地域医療に貢献し、市民の健康保持に必要な医療を提供する」という医療理念の下、安心安全で質の高い医療を提供できるよう全職員と一丸となって精一杯努力してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます」と語りました。



高校生5名が明るい 選挙推進協議会の委員に



4月14日、本市選挙管理委員会では、若者の投票率向上と政治への関心を高めてもらうため、市内高校の生徒5名(鹿児島水産高等学校3名、枕崎高校2名)を新たに市の明るい選挙推進協議会の委員とする委嘱式を行いました。

式では、高校生を代表し、枕崎高校3年の鮎川真維さんが「未来を担う若者に、政治への関心を高めてもらうための啓発活動を展開し、力の限り取り組むことを誓います」と宣誓しました。

今回で2期目となる高校生委員は、啓発活動への参加協力を主な活動とし、今後さらに活動を拡げていく予定です。

市議会と意見交換を行う各種団体等を募集します

市議会では、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」、「市民参加・市民との連携」および「政策提案機能の強化・拡大」を図るため、公募により意見交換会を行う団体等を募集します。

- 対象 市内で事業活動やその他の活動を行う団体および市民グループ、市内高等学校、自治公民館等で、10名以上の参加が可能な団体
- 開催時期 令和7年7月(時間は1時間30分程度)
- 開催場所 応募団体が希望する場所とし、会場は応募団体が確保してください。
- 意見交換の内容 あらかじめ提出いただいたテーマ(原則3件以内)に基づき意見交換を行い、意見交換会の結果は、議会での一般質問や委員会審査などの議会活動に生かしていくことになります。意見交換の内容が議会として対応できないものや、政策に反映できないような単なる市への苦情等を目的としたものとならないよう、テーマを設定される際は十分留意してください。
- 参加議員 原則、全議員(12名)
- 応募方法 申込書に必要事項を記入の上、議会事務局へ提出してください。申込書は、議会事務局に備え付けていますが、市ホームページからも入手できます。なお、提出はファックス、メールでも受け付けています。
- 応募締切 5月29日(木)

- その他 開催については、議会運営委員会で協議して決定します。応募されたテーマの内容、開催時期によっては、お受けできない場合や、意見交換の方法等について協議する場合があります。また、意見交換会の結果は、市議会において概要を作成し、後日市ホームページ等で公開します。

■問合せ・申し込み

議会事務局議事係 TEL76-1046・FAX72-9436
メールアドレス giji3@city.makurazaki.lg.jp



昨年度は鹿児島水産高等学校の生徒の皆さんと意見交換会を開催しました。